

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver
 (仮称)THE CRODO 薬院浄水 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		4.0	0.15	3.4	1.00			3.5
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策			-		0.50			
1.2 遮音		5.0	0.50	3.8	0.50			
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能T-2	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL(II)-4	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00			2.8
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・遅延制御性			-		-			
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	-		-			
5 温度・湿度制御			-		-			
6 個別制御			-		-			
7 時間外空調に対する配慮			-		-			
8 監視システム			-		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.6	1.00			3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.1	0.30			
1 昼光率	風除室: 9.10%、2~4階DW-type-LD: 1.8%	5.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口	南、東面に窓あり		-	5.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30			
1 照明装置のグレア			-		-			
2 昼光制御	住宅部: 庇、カーテンで制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策			-		-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		4.0	0.25	3.6	1.00			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策			-		-			
3 タンク・カビ等			-		-			
4 レジオネラ対策			-		-			
4.2 換気		4.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量	共用部: 基準の1.4倍以上	5.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画			-		-			
4.3 運用管理			-		-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-		-			
2 喫煙の制御		3.0	-		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.7
1 機能性		3.4	0.40	4.6	1.00			4.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	光ケーブル設置	3.0	-	5.0	1.00			
3 パリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観	洋室天井高2.5m	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-		-			
3 内装計画	建物コンセプト作成	4.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上材を採用している	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務			-		-			
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-			3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁タイル40年	5.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位2種がB以上、Eは不使用	5.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型便器の採用、系統の分離	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブル、地下空間への設置なし	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり					4.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.01m以上	3.0	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	換気ボイドの採用	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		エネファーム・LED照明等の高効率設備機器の採用	5.0	0.40	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR換算値=105%			-	-	
集合住宅の評価			5.0		-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン(路盤材)	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地、OAフロアの採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=94%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1	大気汚染防止	エネファームの採用	4.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場設置、駐車場設置、来客用駐車場	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	